

バリアフリー、中学校給食、介護、子育て。



政策市民会議国分寺 及川 妙子

1. バリアフリーについて

(1)国分寺駅南口の西側の横断歩道で車道と歩道の段差が2～3センチあり、車椅子の方が通りづらい。段差を解消してほしい。→バリアフリー法での標準は2センチ。視覚障がい者は段差で車道と歩道の差を認識できる。

視覚障がい者の識別性を確保すれば2センチ未満も可能である。全国の自治体では板橋型BFブロックや切り開き型UDブロックなどの使用例がある。→都道の管理者である北多摩北部建設事務所に相談する。

(2)西国分寺駅南口タクシー乗り場で縁石が20センチあり車椅子利用者や高齢者がタクシーに乗りにくい。何とかならないか？→バリアフリー法と市の条例では15センチだが、すでに整備されているものには適用しない。

現に不便な人がいるのであれば検討するのが筋ではないか？→今後の課題として検討する。

2. 中学校給食について

2年前のアンケートでおいしくないが68.6%、今年64.5%でほとんど変わっていない。また、給食の残業率も17.0%で小学校の7.4%に比べて高い。残す理由で時間が足りないが20.0%あるが、食べる時間をもう少し長くしてもらえないか？→4時間目がのびないように学校に指導する。給食導入以来おいしくないという評判が定着してしまっている。小学6年生を対象に試食会をやったり、給食センターの見学、家庭科で給食メニューを作ったりしたらいかがか？→できるものについては実行したい。

3. 介護保険制度の改正について

2015年4月から、要支援1・2の訪問介護と通所介護について保険給付からはずれ、新たに地域支援事業となり、事業者だけでなくNPOやボランティアもサービスを提供することになるが、準備はどの程度進んでいるか？→要支援1・2は1,110人いる。国のガイドラインがまだできていないので具体的な検討はできていないが、全体の計画を策定するとともに受け皿の確保も進めていきたい。

4. 子ども・子育て支援新制度について

2015年4月から制度が変わる。市内の保育園、幼稚園で認定子ども園に移行するのはどれくらいか？→はっきり表明している事業者はいない。学童保育の条例もつくるが、例えば定員オーバーで待機児童がでるのか？→国の基準に基づき検討している。待機児童を出すような事態は避けたい。

物理的に場所がない。23区は全児童対象の放課後子ども教室に移行している。検討してほしい。

市民が住みやすい環境整備を



自民党・市民クラブ 本橋 たくみ

●若年層の人口定住化について

(本橋) 国分寺市においてはこれからまだ人口が微増傾向にあるということだが、政策の誘導で若年層の定住化率を上げていく必要があると

考えるがどうか。(部長) 子育て支援、産前、産後のケア等に力を入れていき、産み育てやすい環境を整えることで若年層の定住化率を上げていく必要があると考える。(本橋) 子育て環境、産前、産後のケア等含めて子育て環境を整備して若年層の定住率を上げていただきたい。

●西国分寺駅周辺整備について

(本橋) 西国分寺駅北口をあのまま放置しておくわけにはいかないと考えるが、現在の西国分寺駅北口整備に向けた現状はどうなっているか。(部長) 現在、西国分寺駅北口地区まちづくり協議会が5月10日に設立され、市として認定をする手続きを進めているところである。

(本橋) しっかり整備に向けて市としても後押しをお願いしたい。

●スポーツ環境の整備について

(本橋) 国分寺市においては、サッカーをする環境を含めて、スポーツをする環境が整っていない。子どもから高齢者までスポーツができる環境を整備していく必要があると考えるがどうか。(部長) 平成27年を目途にスポーツ振興計画の中でスポーツ環境の整備も含めて位置づけを検討する。(本橋) 財政的な問題もあるが、サッカーグラウンドの整備も含めてこれからしっかり取り組んでいただきたい。

●交通安全対策について

(本橋) 第五小学校の西側の十字路について、住民から交通の危険性が指摘されている。路面の工夫等、交通安全対策を強化していただきたいと考えるがどうか。(部長) 関係機関と協議をしながら検討課題としていく。(本橋) 事故も発生しているようであるので、早急に対応していただきたい。

●生産緑地について

(本橋) 平成34年に生産緑地の指定が外れると思うが市として今後どうやって農地を確保していくのか。(部長) 保全が継続できるように市としても対応を検討していく。

●ぶんバスのノンステップバスの導入について

(本橋) ぶんバスでは、ノンステップバスが導入されていないが、これから導入していく必要があると考えるがどうか。(部長) 耐用年数を迎える車両について、順次対応していく考えである。(本橋) 高齢でお困りの方々もいるのでできるかぎり早急に利便性の向上に取り組んでいただきたい。

行政改革！ 目指すのは先進市！



自民党・市民クラブ おざわ 脩

1. 技能労務職員について

尾澤) 国分寺市の総職員数に対する技能労務職員(給食調理員、用務員、一般作業員)の割合が13.4%と東京都26市中二番目に多い。これら技能労務職員の給与(例:給食調理員51.4歳で43万7,200円/月)は同業種の民間給与と比較すると1.3～2倍高い。つまり、他市より高い人件費で市民に行政サービスを提供している状態である。技能労務職員数が多いという現状についてどうお考えか？

答弁) 国分寺市は歴史的経過の中で市の直営を維持し、その間に他市が先行して民間委託を進めてきた結果と考える。

尾澤) 他自治体では給食調理や用務等の単純業務はとうに民間委託を行い「人件費の削減」と民間のノウハウを活用した「サービス向上」に

成功している。更に、他自治体では窓口業務や会計業務等の民間委託も始まっている。しかし、本市の行政改革はその様な域に全く無い、しっかりと課題として捉えているのか？

答弁) 問題は明らかであり、大きな課題として捉えている。先駆的な取り組みを研究しながら指摘を頂いた業務の民間委託を行うため、庁内関係部署と協議しながら解決に向けて取り組む。

2. 税外収入について

尾澤) 税以外の収入を増やす為に、行政の特性やインフラを利用した広告収入事業にもっと力を入れるべき。行政側も税外収入を増やすことの重要性は承知しているようだが認識止まりで進展がない。よって事業が進むような提案をしたい。収入に繋がった広告事業を提案した部署にはその広告事業等で得た収入の何割かを次年度予算に上積みするといったインセンティブを与えて職員のやる気を促すのはいかがか？

答弁) そのような新たな取り組みができるか、研究検討させていただきます。

3. 人間ドックについて

尾澤) 人間ドックで胃部検査を行っているが、バリウムや胃カメラを飲むことは辛く、また食事制限等もあり受診者の負担が大きい。受診者数を更に伸ばすにはそれらの負担の大きい検査から負担の少ないABC検査(血液検査)に替えることも検討すべき。

答弁) 受診率の向上は課題である、ABC検査についても検討させていただきます。

4. オープンデータについて

尾澤) 市所有の情報(地図や統計データ等)を市民や企業が二次利用できる形式で提供し、それらを活用してもらうことを考えてはいかがか。答弁) 前向きに取り組んでいきたいと思っております。

第2回定例会陳情の審議結果

《採択となった陳情》

陳情第26-2号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

《審議未了となった陳情》

陳情第24-21号 「市民の公民館の利用を有料にしないでください」についての陳情

陳情第25-7号 「空襲被害者等援護法(仮称)の制定を求める意見書」に関する陳情

《継続となった陳情》

陳情第25-13号 障がい児及び特別な支援が必要な児童の保育拡充に関する陳情

陳情第26-3号 「安心して暮らせる日本」にするための意見書の提出を求める陳情

陳情第26-4号 子どもたちが安心して暮らすことのできるための電波塔設置規制の条例制定の陳情

陳情第26-5号 集団的自衛権の行使容認について憲法の解釈変更に対する意見書提出に関する陳情

閉会中の委員会等

第2回定例会終了後に開催する委員会等は下記のとおりです。

7月17日(木) 議会運営委員会
7月23日(水) 総務委員会
7月28日(月) 建設環境委員会
7月31日(木) 文教子ども委員会
午後1時30分開始予定
8月8日(金) 厚生委員会
8月13日(水) 国分寺駅周辺整備特別委員会
8月28日(木) 代表者会議
議会運営委員会
文教子ども委員会以外は、午前9時30分から開始予定です。